

住民票などの証明費用は据え置きを要望。後期高齢者医療保険の継続を要求。
奈良県広域水道への加入に反対しました。

求める請願について
【質問】六月議会で請願者は「放課後子ども育成教室」が安心安全の場とは言えなくなったことを述べておられた。どう対応したか、またアドバイザー採用について説明願いたい。

証明書の価格引き上げ案が示されましたが、「よいことは継続を」と反対。後期高齢者医療で保険証の廃止が提案されましたがマイナンバーカードへの一本化は危険が大きいため現行保険証の継続を求めました。

奈良県広域水道には、自己水の廃止で災害発生時の対応が不安であること、水道料金は一部事務組合議会で審議され、町議会で決められず自性が損なわれることから反対しました。



八尾春雄 一般質問

放課後子ども育成教室の改善を求める請願について

自衛隊への名簿提出について
 その他

中央公民館建て替えについて

【1】学童保育

放課後子ども育成教室の改善を

自衛官の募集に関し必要な資料として住民基本台帳の一部の写しを用いることは住民基本台帳法上特段の問題を生じないとされている。今年度から自衛隊に個人情報提供を望まない場合の除外申請に応ずる。

【2】個人情報
【質問】本人や保護者の了解を得ないで18歳と22歳の個人情報を紙媒体で自衛隊に提供するのはやめ、閲覧方式に戻すべきではないか。防衛省は「資料の提出を求めるが強制しない」と言っている。

【教育長】児童・保護者の不安解消のため子ども課担当職員を4名に増員するとともにアドバイザーを配置し書面及び現場確認を強化している。また学校との協議を進め真美一小付属幼稚園の一室を確保した。アドバイザーは会計年度任用職員として採用し週5日勤務し雇用保険・健康保険を取得している。特に資格を求めている。資格のあるアドバイザーが必要な部署ではないか。〔質問者注〕



山田美津代 一般質問

民間会社の学童クラブの研修体制について

高齢者支援に付いて（4問）

学童クラブ

（1）民間委託会社の学童クラブの研修体制について

（問）民間委託業者が指導員にされている研修内容について、保育理念に基づいた研修内容が町は把握しているか。請願を受けて委託業者が改善されると報告があったが点検は行ったか。来年の待機児童が出る対策として他の民間業者を募る計画だがひまわりクラブと同じでは子ども達や保護者に混乱が起きる。民設民営では保護者の要望が届かなくなるのではないか。専門家のご指導を頂くことも検討を。

（答弁・町長）民間委託会社は運営方針をもとに研修体制を実施している。より実務に即した内容を実施して毎週報告を受けている。

新たな民間事業者が参入された場合町の補助事業として事業運営をされるものとして想定。保護者の相談等を受け必要に応じて指導を

行う。
高齢者
 （2）高齢者支援について4問質問する。

- ①生活困窮者対策としてクーラー代などの電気代の支援や冬場の暖房費の町独自の支援を
- ②買い物支援策として「とくし丸」（移動販売スーパー）などの周知を
- ③軟骨伝導式補聴器を宇陀市は認知症対策として支援をしている。広陵町でも支援を。
- ④高齢者の家賃補助や地震対策のため老朽化の激しい町営住宅建て替えの検討が緊急にしているのではないか。

- （答弁・町長）
- ①国や県の給付があれば速やかに給付できるよう努める。
 - ②ささえ愛の会議でも取り上げられていたので必要があれば情報提供していく。
 - ③医療機器と比べて安価であり町単独での補助は検討しない。窓口サービスとして活用したい。
 - ④老朽化が進んでいる町営住宅は疋相団地に集約して建て替える方向で進めている。
- 家賃補助は国、県及び民間活力の導入による住宅セーフティネットが住宅確保要配慮者への促進策として供給促進等がなされているため支援制度のさらなる充実に向けて民間業者と共に進めていく。

令和5年度決算

反対 一般会計・国保・後期高齢・介護・学校給食決算
 賛成 上水道・下水道・墓地決算

日本共産党議員団の賛否の基準は、町民目線で行っています。法令に基づく正しい経理処理がなされているか、個人情報を守られているか、物価高の中で料金・掛金などの引き上げを容認していないか、本来無償化すべきなのに国政の不作為を口実にして住民負担を強いていないか、地方自治を後景に追いやり国の悪政の出張所になっていないか、住民に十分に趣旨が伝わりよく議論して合意を得ているかどうか、などです。

健康保険証廃止の中止等を求める意見書案（日本共産党議員団提案）
 健康保険証の廃止により健康保険証を持たず、保険診療を受けられない人が生じないよう、健康保険証の廃止とマイナンバーカードへの一体化について、中止を含め見直すことを強く要望する。（中略）
 健康保険証の廃止は、国民皆保険制度の根幹を破壊する重大問題に発展しかねず、政府の冷静な判断が求められる。（後略）

賛成議員
 八尾・山田

反対議員
 河野・谷内・小原・坂口・千北
 岡本・小西・笹井・坂野・青木・吉村

敬称略
 議長は採決に
 加わりません